



2024年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ

上場取引所 東

コード番号 2160 URL <https://www.gnipharma.com>

代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役CF0 (氏名) 北川 智哉

(TEL) 03-6214-3600

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	17,192	△16.3	2,342	△65.6	1,806	△71.7	607	△87.3	1,305	△41.0	△423	—
2023年12月期第3四半期	20,547	61.0	6,802	355.3	6,376	421.3	4,804	—	2,213	105.7	6,661	162.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	26.12	25.20
2023年12月期第3四半期	46.61	46.13

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第3四半期	62,748	35,977	33,094	52.7	661.06
2023年12月期	62,394	36,052	33,794	54.2	678.01

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,566	52.1	16,286	24.2	15,552	23.3	12,287	29.3	7,058	△12.8	141.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) ガバナンス・パートナーズASIA投資事業有限責任組合
Cullgen Australia Pty Ltd.
除外 1社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	50,076,243株	2023年12月期	49,857,243株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	13,526株	2023年12月期	13,526株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	49,970,288株	2023年12月期3Q	47,487,233株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料「1-(4)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 研究開発活動	4
(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
要約四半期連結損益計算書	7
要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(作成の基礎)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済がソフトランディングできるとの見方が強まりニューヨークダウが最高値を更新する一方で、ウクライナや中東における地政学的リスクが長期化し、予断を許さない状況です。我が国においては、インバウンド需要が引き続き好調に推移し、緩やかな景気拡大が続いておりますが、資源価格の高騰による物価上昇等、先行き不透明な状態が続いております。

当社が属するバイオテクノロジーセクター及び東証グロース市場につきましては、日本国内の利上げ観測等もあり、楽観視できない状況が続いております。

このような状況下におきまして、株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）及びその関係会社（以下合わせて「当社グループ」）は、グローバル中堅製薬企業となることを目指し、販売ラインナップの拡充や研究開発に注力し、また、子会社Cullgen Inc.（以下「Cullgen」）の上場を発表いたしました。

製薬及び創薬事業におきまして、当社グループの主要子会社である北京コンチネント薬業有限公司（以下「北京コンチネント」）は、肺線維症分野における強固な地位を獲得するため、IPF以外の肺線維症を適応症に持つニンテダニブの製造販売に関する権利を2024年5月に取得いたしました。更に希少疾患分野において、中国にて開発を進めていた慢性肝疾患による血小板減少症の治療薬であるアバトロンボバグマレイン酸塩錠の販売承認を2024年6月に受けました。これにより、アイスーリュイの販売網を活用した今後の売上収益増大が期待されています。

2024年10月22日、北京コンチネントは次期製品の有力な候補であるB型肝炎起因の肝線維症を適応としたF351の第3相臨床試験を中国にて完了し、2024年末までに臨床試験のトップラインデータの公表ができるよう鋭意進めております。2025年にはMASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）起因の肝線維症適応に向け、第3相臨床試験を中国で開始、また米国ナスダック市場に上場する当社子会社のGyre Therapeutics, Inc.（以下「GYRE」）が、第2a相臨床試験を米国で開始する予定です。

2024年11月14日に開示しましたとおり、米国及び中国を中心に革新的な新薬の研究開発を行っている米国子会社Cullgenは、リバースマージャーによって米国ナスダック市場の上場会社となることを発表いたしました。上場を果たした際には、GYREに続く2社目となります。

Cullgenは独自の標的タンパク質分解誘導技術プラットフォームuSMITE™ (ubiquitin-mediated, small molecule induced target elimination) を活用した創薬に引き続き邁進しております。アステラス製薬株式会社（以下「アステラス製薬」）と革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及びオプション契約を締結しており、本戦略的提携におけるアステラス製薬との共同研究は、順調に進展しております。

同社初のTRK分解剤の抗がん剤候補としての臨床試験を中国にて進め、第1/2相臨床試験を開始しております。

2024年10月9日に開示しましたとおり、中国及び米国で開発を進めている悪性血液腫瘍（白血病）治療薬であるCG009301（開発番号）のIND（新薬臨床試験開始申請）が承認されました。他の複数のプログラムにつきましても、臨床試験開始を目指して研究開発を進めております。

また、Cullgenはオーストラリアに子会社を設立し、急性痛を適応症としたTRK分解剤の臨床試験を年内に開始すべく、準備を進めております。

①セグメント別の経営成績

医薬品事業

北京コンチネントの主力製品であるアイスーリュイの中国市場での売上収益は順調に推移しました。また、Cullgenにおいて、アステラス製薬との標的タンパク質分解誘導剤の共同開発収益1,085,852千円を計上し、当第3四半期連結累計期間の医薬品事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、それぞれ13,609,722千円（前年同期比25.5%減）、1,419,964千円（前年同期比75.9%減）となりました。しかし、前第3四半期連結累計期間においては、アステラス製薬との戦略的提携に伴う契約一時金による売上収益350万米ドルがあったため、当該一時金を除いた前年同期比では、売上収益は同等、セグメント利益は31.9%増となりました。

医療機器事業

医療機器事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、前年度期末において取得した子会社を連結範囲に含めたことにより、それぞれ3,582,465千円（前年同期比55.8%増）、922,853千円（前年同期比4.0%増）となりました。

②販売費及び一般管理費並びに研究開発費

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
販売費及び一般管理費	△9,556,455	△10,872,612	△1,316,156
人件費	△3,131,738	△4,067,656	△935,917
研究開発費	△1,776,530	△1,927,413	△150,883

当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、10,872,612千円（前年同期比13.8%増）となりました。この販売費及び一般管理費の増加は、主に前年度期末において取得した子会社を、連結範囲に含めたことによるものです。

当第3四半期連結累計期間の研究開発費は、1,927,413千円（前年同期比8.5%増）となりました。この研究開発費の増加は、主にCullgenにおける臨床試験前と臨床試験の進展によるものです。

③金融収益及び金融費用

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
金融収益	505,384	563,879	58,494
金融費用	△904,311	△1,122,009	△217,697

金融収益

当第3四半期連結累計期間の金融収益は、563,879千円（前年同期比11.6%増）となりました。この金融収益の増加は、主に北京コンチネントの長期性預金及びCullgenの預金等の受取利息の増加によるものです。

金融費用

当第3四半期連結累計期間の金融費用は、1,122,009千円（前年同期比24.1%増）となりました。この金融費用の増加は、主に為替差損の増加及びCullgenの資金調達に関する現金支出を伴わない利息費用の増加によるものです。

(2) 財政状態に関する分析

連結財政状態

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間	差額
資産合計	62,394,370	62,748,681	354,310
負債合計	26,341,592	26,770,962	429,369
資本合計	36,052,778	35,977,719	△75,059

資産合計

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、62,748,681千円（前連結会計年度末比0.6%増）となりました。この資産の増加は、主にその他の金融資産（流動）の増加によるものです。

負債合計

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、26,770,962千円（前連結会計年度末比1.6%増）となりました。この負債の増加は、主に短期借入金の増加によるものです。

資本合計

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、35,977,719千円（前連結会計年度末比0.2%減）となりました。この資本の減少は、主にその他の資本の構成要素の減少によるものです。

連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,442,988	△2,057,412	△6,500,401
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,697,727	△6,436,247	△2,738,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,981,492	603,562	△4,377,930

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,057,412千円の支出（前第3四半期連結累計期間は、4,442,988千円の収入）となりました。これは主に、法人所得税の支払によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、6,436,247千円の支出（前第3四半期連結累計期間は、3,697,727千円の支出）となりました。これは主に、差入保証金・敷金の増加による支出及び投資有価証券の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、603,562千円の収入（前第3四半期連結累計期間は、4,981,492千円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の増加及び非支配持分からの払込による収入によるものです。

(3) 研究開発活動

〔研究活動〕

当社グループの創薬研究では、Cullgenを中心に革新的な新規開発候補化合物（NCE）の開発を目指しております。Cullgenは、がん、疼痛、及び自己免疫疾患に対する酵素及び非酵素タンパク質を標的とした複数の新規化合物を含む創薬パイプラインの拡充のための研究開発を進めております。

2023年6月に、Cullgenはアステラス製薬と、革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及びオプション契約を締結いたしました。本戦略的提携において、両社は新規E3リガンドを活用したCullgen独自の技術プラットフォームuSMITE™とアステラス製薬の創薬及び商業化能力を融合し、複数の標的タンパク質分解誘導剤の創出を目指します。Cullgenとアステラス製薬は臨床開発対象の化合物を見出すための共同研究を行い、アステラス製薬は見出された分解剤の開発及び商業化を担います。乳がんやその他の固形がんを対象として、アステラス製薬が同定したリードプログラムである細胞周期タンパク質に対する分解誘導剤候補化合物も含むアステラス製薬との共同研究は、順調に進展しております。

〔開発活動〕

■アイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：ETUARY®（一般名：ピルフェニドン）〕－北京コンチネント
北京コンチネントは、アイスーリュイの適応を以下の疾患に拡大する臨床試験を進めております。

- ・糖尿病腎症（DKD）：第1相完了、今後の進め方を中国当局と継続協議中
- ・結合組織疾患（CTD-ILD）を伴う間質性肺疾患（全身性硬化症（強皮症、SSc-ILD）と皮膚筋炎（DM-ILD））：第3相臨床試験継続中
- ・じん肺治療薬（Pneumoconiosis, PD）：第3相臨床試験継続中

■ニンテダニブ〔英語：Nintedanib〕－北京コンチネント

ニンテダニブはIPF、全身性硬化症関連間質性肺疾患（SSc-ILD）及び進行性線維性間質性肺疾患（PF-ILD）を適応症に持つ治療薬です。2024年5月に、北京コンチネントが製造販売の権利を獲得いたしました。

■F351（一般名：ヒドロニドン）－北京コンチネント及びGYRE

F351は肝線維症向け治療薬候補として、当社グループの医薬品ポートフォリオにおける重要な新薬候補であり、世界の主要医薬品市場への参入に向けた戦略の非常に重要なものとなります。F351は、ブロックバスターと期待される新薬候補です。

北京コンチネントは2024年10月22日、中国におけるB型慢性肝炎に起因する肝線維症患者を対象とした第3相臨床試験を完了し、2024年末までにトップラインデータの公表ができるよう鋭意進めております。

GYREは、2025年にF351を代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）に伴う肝線維症の第2a相臨床試験を開始する予定です。

■F573（急性肝不全（ALF）・慢性肝不全の急性増悪（ACLF）治療薬）－北京コンチネント

急性肝不全（ALF）や慢性肝不全の急性増悪（ACLF）の治療薬として、F573の第2相臨床試験を実施しております。

■F230（肺動脈性肺高血圧症治療薬）－北京コンチネント

F230は、肺動脈性肺高血圧症の治療薬であり、2024年5月28日に、北京コンチネントは中国においてINDの承認を受けました。第1相臨床試験の早期開始に向け、準備を進めております。

■F528（慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療薬）－北京コンチネント

F528は、複数の炎症性サイトカインを抑制する新規の抗炎症剤であり、慢性閉塞性肺疾患（COPD）の進行を軽減する可能性のある新薬候補として研究開発を進めております。

■CG001419（TRK分解剤）－Cullgen

CG001419は、業界初の選択的かつ強力な標的タンパク質分解誘導剤を活用した経口剤として開発を進めております。2023年7月に、同社初となる第1／2相臨床試験を中国にて開始いたしました。

■CG009301（悪性血液腫瘍（白血病）治療薬）－Cullgen

CG009301は、GSPT1 タンパク質を標的とした新規の分解薬であり、2024年10月8日に国家薬品监督管理局（NMPA）によりIND（新薬臨床試験開始申請）が承認されました。今後速やかに臨床試験へ移行いたします。

■オーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）のジェネリック－北京コンチネント

北京コンチネントは、オーファンドラッグのパイプライン拡充のため、2024年6月に慢性肝疾患による血小板減少症の治療薬であるアバトロンボパグマレイン酸塩錠の販売承認を取得いたしました。また、多発性硬化症の治療薬であるフィンゴリモード塩酸塩錠の販売権取得を目指しております。

（4）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2024年2月14日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	5,238,673	5,480,365
使用権資産	814,513	1,047,618
のれん	17,261,275	17,526,722
無形資産	3,690,331	4,636,676
持分法で会計処理されている投資	360,821	390,592
繰延税金資産	304,436	268,119
その他の金融資産	3,793,224	6,135,227
その他の非流動資産	23,811	—
非流動資産合計	31,487,087	35,485,323
流動資産		
棚卸資産	2,330,622	2,602,812
営業債権及びその他の債権	3,973,476	4,754,445
その他の金融資産	1,577,274	4,601,997
その他の流動資産	1,392,881	1,254,817
現金及び現金同等物	21,633,028	14,049,285
流動資産合計	30,907,282	27,263,358
資産合計	62,394,370	62,748,681
負債及び資本		
非流動負債		
借入金	1,600,000	1,300,000
リース負債	150,276	292,393
繰延税金負債	1,173,159	1,283,900
その他の金融負債	15,139,232	13,613,691
その他の非流動負債	85,146	75,755
非流動負債合計	18,147,815	16,565,740
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,064,776	1,543,547
借入金	1,300,000	4,600,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
リース負債	249,158	293,961
未払法人所得税	2,187,700	1,222,084
その他の金融負債	49,010	461,690
その他の流動負債	1,943,131	1,683,938
流動負債合計	8,193,776	10,205,221
負債合計	26,341,592	26,770,962
資本		
資本金	13,052,056	13,223,623
資本剰余金	7,397,974	6,529,063
自己株式	△15,302	△15,302
利益剰余金	8,790,563	10,095,642
その他の資本の構成要素	4,569,122	3,261,272
親会社の所有者に帰属する持分合計	33,794,414	33,094,300
非支配持分	2,258,363	2,883,419
資本合計	36,052,778	35,977,719
資本及び負債の合計	62,394,370	62,748,681

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	20,547,895	17,192,188
売上原価	△2,369,420	△3,515,363
売上総利益	18,178,475	13,676,825
販売費及び一般管理費	△9,556,455	△10,872,612
研究開発費	△1,776,530	△1,927,413
その他の収益	358,417	2,241,354
その他の費用	△401,369	△775,335
営業利益	6,802,536	2,342,817
金融収益	505,384	563,879
金融費用	△904,311	△1,122,009
持分法による投資利益 (△損失)	△27,537	22,139
税引前四半期利益	6,376,072	1,806,826
法人所得税費用	△1,571,575	△1,199,047
四半期利益	4,804,496	607,779
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	2,213,274	1,305,078
非支配持分	2,591,222	△697,299
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	46.61	26.12
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	46.13	25.20

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期利益	4,804,496	607,779
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,843,782	△1,040,301
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	13,025	9,170
その他の包括利益合計	1,856,807	△1,031,130
四半期包括利益合計	6,661,304	△423,351
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,907,869	67,218
非支配持分	2,753,434	△490,570

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2023年1月1日残高	10,893,070	6,233,386	△756	696,360	824,192	2,323,439	3,147,631
四半期利益	—	—	—	2,213,274	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	1,694,595	1,694,595
四半期包括利益合計	—	—	—	2,213,274	—	1,694,595	1,694,595
支配継続子会社に対する持分 変動	—	△751,883	—	—	—	△19,903	△19,903
新株の発行	19,171	19,171	—	—	△176	—	△176
新株予約権の発行	—	—	—	—	5,127	—	5,127
株式報酬取引	—	—	—	—	106,374	—	106,374
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△4,213	—	△4,213
新株予約権の失効	—	—	—	—	△21,725	—	△21,725
自己株式の取得	—	—	△9,390	—	—	—	—
所有者との取引額合計	19,171	△732,712	△9,390	—	85,386	△19,903	65,483
2023年9月30日残高	10,912,241	5,500,673	△10,147	2,909,635	909,579	3,998,131	4,907,710

	親会社の所有者に帰属する持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2023年1月1日残高	20,969,692	△1,158,724	19,810,968
四半期利益	2,213,274	2,591,222	4,804,496
その他の包括利益	1,694,595	162,211	1,856,807
四半期包括利益合計	3,907,869	2,753,434	6,661,304
支配継続子会社に対する持分 変動	△771,786	771,786	—
新株の発行	38,165	—	38,165
新株予約権の発行	5,127	—	5,127
株式報酬取引	106,374	—	106,374
新株予約権発行費用	△4,213	—	△4,213
新株予約権の失効	△21,725	—	△21,725
自己株式の取得	△9,390	—	△9,390
所有者との取引額合計	△657,448	771,786	114,338
2023年9月30日残高	24,220,114	2,366,497	26,586,611

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2024年1月1日残高	13,052,056	7,397,974	△15,302	8,790,563	1,503,717	3,065,405	4,569,122
四半期利益(△損失)	—	—	—	1,305,078	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△1,237,860	△1,237,860
四半期包括利益合計	—	—	—	1,305,078	—	△1,237,860	△1,237,860
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分 変動	—	△1,040,478	—	—	—	△55,221	△55,221
新株の発行	171,567	171,567	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	86,217	—	86,217
新株予約権の発行	—	—	—	—	326	—	326
新株予約権の行使	—	—	—	—	△96,711	—	△96,711
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△4,600	—	△4,600
所有者との取引額合計	171,567	△868,910	—	—	△14,768	△55,221	△69,989
2024年9月30日残高	13,223,623	6,529,063	△15,302	10,095,642	1,488,948	1,772,324	3,261,272

	親会社の所有者に帰属する持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2024年1月1日残高	33,794,414	2,258,363	36,052,778
四半期利益(△損失)	1,305,078	△697,299	607,779
その他の包括利益	△1,237,860	206,729	△1,031,130
四半期包括利益合計	67,218	△490,570	△423,351
連結範囲の変動	—	91,244	91,244
支配継続子会社に対する持分 変動	△1,095,699	1,024,380	△71,318
新株の発行	343,135	—	343,135
株式報酬取引	86,217	—	86,217
新株予約権の発行	326	—	326
新株予約権の行使	△96,711	—	△96,711
新株予約権発行費用	△4,600	—	△4,600
所有者との取引額合計	△767,332	1,115,625	348,292
2024年9月30日残高	33,094,300	2,883,419	35,977,719

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,376,072	1,806,826
減価償却費	423,733	662,089
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,974,714	△719,533
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△256,652	△511,223
棚卸資産の増減額 (△は増加)	260,964	△243,894
賞与引当金増減額 (△は減少)	26,495	△54,026
金融収益及び金融費用	675,928	504,092
その他	△18,663	△1,724,442
小計	5,513,164	△280,111
利息の受取額	126,827	322,226
利息の支払額	△16,992	△67,709
法人所得税の支払額	△1,180,010	△2,031,817
営業活動による正味キャッシュ・フロー	4,442,988	△2,057,412
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,765,800	△290,906
有形固定資産の取得による支出	△1,041,104	△465,199
有形固定資産の売却による収入	1,927	—
無形資産の取得による支出	△694,565	△722,411
投資有価証券の取得による支出	△139,128	△1,701,857
投資有価証券の売却による収入	—	190,429
差入保証金・敷金の増加による支出	△3,753	△3,464,795
差入保証金・敷金の減少による収入	—	18,494
貸付けによる支出	△58,860	—
貸付金の回収による収入	3,557	—
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△3,697,727	△6,436,247
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額 (△は減少)	1,100,000	3,300,000
長期借入金の返済による支出	—	△300,000
新株予約権の発行による収入	357	326
非支配持分からの払込による収入	4,008,959	625,142
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△3,269,100
新株予約権の行使による収入	27,504	528,494
リース負債の返済による支出	△152,451	△281,300
自己株式の取得による支出	△38	—
その他	△2,838	—
財務活動による正味キャッシュ・フロー	4,981,492	603,562
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,366,537	306,354
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,093,291	△7,583,742
現金及び現金同等物の期首残高	11,049,310	21,633,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,142,601	14,049,285

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

(1) 適用される財務報告の枠組み

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第5条第5項に定める記載の省略を適用）に準拠して作成しております。

本要約四半期連結財務諸表には年次の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、2023年12月31日に終了した連結会計年度の当社グループの連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を切り捨てて表示しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、創薬及び製造販売事業である医薬品事業及び、医療機器事業を展開しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び受託研究等を行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要製品は以下のとおりです。

報告セグメント	会社名	主要製品
医薬品事業	株式会社ジーエヌアイグループ、北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI Hong Kong Limited、上海ジェノミクステクノロジー有限公司、Cullgen (Shanghai), Inc.、GNI USA, Inc.、Cullgen Inc.、上海リーフ国際貿易有限公司、Gyre Therapeutics, Inc.	アイスーリュイ、医薬品開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	Berkeley Advanced Biomaterials LLC、マイクレン・ヘルスケア株式会社、Berkeley Biologics LLC	生体材料、医療機器 選任製造販売業者 (DMAH) 及び治験国内 内管理人 (ICC) サ ービス

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	18,272,865	2,275,030	20,547,895	—	20,547,895
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	23,754	23,754	△23,754	—
計	18,272,865	2,298,784	20,571,650	△23,754	20,547,895
セグメント利益	5,915,025	887,511	6,802,536	—	6,802,536
				金融収益	505,384
				金融費用	△904,311
				持分法による投資損失	△27,537
				税引前四半期利益	6,376,072

(注) 1. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益です。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	13,609,722	3,582,465	17,192,188	—	17,192,188
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,609,722	3,582,465	17,192,188	—	17,192,188
セグメント利益	1,419,964	922,853	2,342,817	—	2,342,817
				金融収益	563,879
				金融費用	△1,122,009
				持分法による投資利益	22,139
				税引前四半期利益	1,806,826

(注) 1. セグメント間の内部売上収益又は振替額は、独立企業間価格に基づいております。

2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益です。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

（重要な後発事象）

（連結子会社における重要な契約）

当社は、2024年11月13日開催の取締役会で、当社の連結子会社 Cullgenが、Pulmatrix, Inc.（ナスダック上場、証券コード：PULM、以下「PULM」）との間で、リバースマージャーに関する契約を締結することを決議し、同日付でリバースマージャーに関する契約を締結いたしました。

（1）本取引の目的

当社グループは中長期目標として、グローバル中堅製薬企業となることを掲げており、当社グループが展開する3事業の主力子会社すべての上場を目指しております。

本取引の成功により、今後Cullgenの知名度が向上し、新薬の開発がより促進されることで、当社グループ全体として一層の企業価値の向上が期待できます。

（2）本取引の概要

本取引は、ナスダック上場企業であるPULMがCullgenの発行済み株式100%を獲得し、CullgenをPULMの完全子会社にすると同時に、PULMとCullgenが合併、Cullgenの既存株主がPULM株式の半数以上を所有することで、実質的にCullgenが上場企業として存続していく内容となります。本取引による合併後、Cullgenの既存株主はPULM（合併後の企業）株式の96.4%を保有し、PULMの既存株主は3.6%を保有することとなります。

（3）連結業績への影響額

本取引により、約14,764百万円の利益が発生することが想定されますが、本取引完了及び上場にはPULMの株主及びCSRCの承認を条件としております。現時点では、上場条件は満たしており、問題なく本取引を進められると考えております。また、実際の利益額は株式公開日の初値や上場時点の為替によって変動いたします。